

第57回 総合診療セミナー in お茶の水

共催 東京科学大学 総合診療科 介護・在宅医療連携システム開発学講座

常陸大宮済生会18年の歩みと地域での総合外科診療

小島 正幸 先生 常陸大宮済生会病院 院長

恩賜財団済生会は、1911年、明治天皇が、「生活苦で医療を受けることができずに困っている人たちを施薬救療（無償で治療すること）によって救おう」と発せられた済生勅語によって創設されました。現在日本最大の社会福祉法人として、全国40都道府県で、活動しています。常陸大宮済生会病院は、2006年全国で80番目にできた病院です。地域の一般病院外科で経験した高齢者に多い消化器疾患や機能性ディスペプシアや過敏性腸症候群などと診断されている中に含まれていると思われる正中弓状靭帯圧迫症候群などについて最近の知見を加え発表する。

茨城の地方から考える総合診療の歩き方

市毛 博之 先生 常陸大宮済生会病院/東京科学大学総合診療科

「地域医療には総合診療医が必要である」。このフレーズが持つ意味を茨城での診療経験を基にひもとき、総合診療医の在り方や成長のプロセスについて"ともに"考えたい。そして地域医療の楽しさや総合診療の真のニーズを再確認する。

対象 総合診療に興味のある医師・学生・コメディカル

参加費無料

Zoom開催

事前登録制

日時 2024年 **11**月**28**日(木)
19:00～20:30（18:30開場）



参加方法 QRコード or 東京科学大学総合診療科
ホームページよりお申し込みください

Institute of
SCIENCE TOKYO

お問い合わせ先：総合診療セミナーinお茶の水 事務局 <secretary2.fmed@tmd.ac.jp>
本会は、日本プライマリ・ケア連合学会の専門医・認定医更新のための単位（0.5単位）および
日本プライマリ・ケア認定薬剤師の認定単位（1単位）の取得申請中です。

Healthcare for All!

すべてのひとに、つながる医療

東京科学大学 総合診療科